

2. 指標設定

成果指標	指標名	生産基盤の改善・強化		目標年度	H27				指標の設定理由			
	数値	—			生産基盤や経営基盤の強化に努め、生産額と経営の安定							
活動指標	指標	a	肉用牛平均飼養頭数	b	乳用牛平均乳量	c		d				
	数値	目標	10頭	目標	8,000kg	目標		目標				

3. 実績（上段・実績／下段・達成率）

成果指標名	単位	H21	H22	H23
生産基盤の改善・強化		—	—	—

活動指標名	単位	H21	H22	H23
a 肉用牛平均飼養頭数	頭	7.5 頭	8.1 頭	8.1 頭
		75.0 %	81.0 %	81.0 %
b 乳用牛平均乳量	kg	6,999 kg	7,390 kg	7,259 kg
		87.4 %	92.4 %	90.7 %
c				
d				

4. 課題と対応

課題
飼養農家戸数の減少に加え頭数の減少も大きい
対応（改善点等）
今後は個々の経営基盤の強化を図り経営の安定化に努める。

5. 事業費・・・H21～H23（決算額）、H24（予算現額）

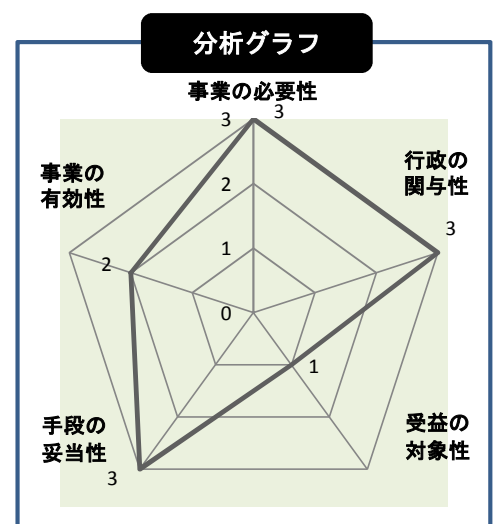
決算額（千円）		H21	H22	H23	H24
		11,881	14,738	10,577	20,400
うち経常経費		3,900	4,050	3,100	4,000
財源内訳	国費				
	県費	3,370	4,032	1,467	7,585
	市債				
	その他				
	一般財源	8,511	10,706	9,110	12,815
うち経常		3,900	4,050	3,100	4,000
事業費に係る人件費		16,640	16,818	7,998	5,582

6. H25年度予算の方向性

方向性
前年並
理由
市単事業等の規則及び要綱を見直し、継続して基盤強化に努める。

7. 担当課による分析

着眼点	分析	分析根拠
① 事業の必要性	必要性の再確認	3 枝肉価格や子牛価格が下落する中で、農家の経営は不安定なため、今後は基盤強化をさらに取り組む。
② 行政の関与性	責任領域の精査	3 県との連携により事業の展開を行う。
③ 受益の対象性	事業対象の確認	1 新規就農や集落営農組織等に畜産業の取り組みを推進する
④ 手段の妥当性	活動指標の分析	3 個々の経営に状況を把握し事業の推進を行う
⑤ 事業の有効性	成果指標の判断	2 個々の経営規模も徐々に拡大傾向にある。



8. 内部評価委員会評価（委員会評価）

事業の方向性	評価内容
継続	農業振興計画に基づき事業の推進を図ること